

百日咳に注意しましょう！

茨城県感染症情報センター 令和7年3月31日時点

百日咳ってどんな病気？

百日咳は、百日咳菌（*Bordetella pertussis*）によって引き起こされる急性呼吸器感染症です。**特有の発作性けいれん性の咳（痙咳:けいがい）が特徴**で、いずれの年齢でも感染しますが、小児が中心となっています。特に生後6か月以下の乳児では重症化しやすく、まれに死に至ることもある疾患です。

症状は？

① カタル期（約2週間）

7～10日程度の潜伏期間の後、風邪症状で始まり、**徐々に咳の回数が増え、咳の程度も激しくなります。**

② 痙咳(けいがい)期（約2～3週間）

特有の発作性けいれん性の咳（短い咳が連続的に起こり、息を吸うときに笛の音のようなヒューという音がでる）が出現します。

非発作時は無症状ですが、夜間の発作が多いです。



③ 回復期（約2～3週間）

徐々に激しい発作がなくなり、発症から2～3か月で回復します。

感染経路は？

主な感染経路は**飛沫感染・接触感染**です。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込んだり、手指を介して自分の鼻や口に触れることで感染します。

予防するには？

手洗いの励行や咳エチケットなどの**基本的な感染対策が重要**です。

また、百日咳の予防には**予防接種**（5種混合ワクチン等）が有効です。

生後2か月から予防接種法に基づく定期接種を受けることができるため、計画的に接種しましょう。

